

No.	発表番号	演題	発表者	日時	発表時間	場所
座長：田中京子（大阪府立大学）						
1	○1-01	ICU看護師の患者・家族への意思決定支援～侵襲的治療を望んだ終末期患者の症例から～	寺倉 佳苗	5月30日	15:10-16:10	第2会場 (中ホール)
2	○1-02	直腸がんの肛門側浸潤により敗血症をきたした患者への医療チームによる協働意思決定支援の振り返り	大森 美樹	5月30日	15:10-16:10	第2会場 (中ホール)
3	○1-03	無医地区離島に暮らす住民の人生会議に参加しての思い	田畑 千穂子	5月30日	15:10-16:10	第2会場 (中ホール)
4	○1-04	困難事例において協働した、多分野の専門看護師の専門性に基づく価値とジレンマ	酒井 結実	5月30日	15:10-16:10	第2会場 (中ホール)
5	○1-05	倫理カンファレンスのファシリテーター育成に関する一考察	上田 佳代	5月30日	15:10-16:10	第2会場 (中ホール)
座長：安藤広子（日本赤十字秋田看護大学）						
6	○2-01	A大学看護学科1年生の道徳的感受性の変化—基礎看護学実習I前後の比較—	狩野 京子	5月30日	15:10-16:10	第5会場 (大会議室)
7	○2-02	看護学生が地域を見て知って体験して—早期体験学習として地方・過疎地をみて看護に活かそう—	泉澤 真紀	5月30日	15:10-16:10	第5会場 (大会議室)
8	○2-03	A看護系大学1年生の看護倫理の授業における学び	竹崎 和子	5月30日	15:10-16:10	第5会場 (大会議室)
9	○2-04	地域基幹病院の看護師が体験した倫理課題の特徴：4年間の看護倫理研修に提出された73事例の分析から	市川 慶子	5月30日	15:10-16:10	第5会場 (大会議室)
10	○2-05	新人看護師に看護倫理教育を1年間継続実施した効果について—研修内容と倫理的気づきとの関連性—	國松 敬介	5月30日	15:10-16:10	第5会場 (大会議室)
座長：八尋道子（佐久大学）						
11	○3-01	身体拘束減少を目指し院内へ身体拘束の現状を情報発信—認知症ケアサポートチーム活動にCNSの立場で参加して—	会田 玲子	5月31日	9:30-10:30	第2会場 (中ホール)
12	○3-02	身体拘束の予防・適応検討の電子カルテ化 1年後にみられた、A病院病棟看護師の拘束に関する意識・行動変化	近藤 恵子	5月31日	9:30-10:30	第2会場 (中ホール)
13	○3-03	身体抑制に対する看護師の認識—身体抑制をやむを得ないと判断した看護師の認識を構成する要因—	山口 洋子	5月31日	9:30-10:30	第2会場 (中ホール)
14	○3-04	臨床で倫理的問題に向き合うための看護師長会での取り組み—身体拘束事例検討で見えた管理者としての姿—	三浦 直子	5月31日	9:30-10:30	第2会場 (中ホール)
座長：伊藤美佐江（山口大学）						
15	○4-01	ジレンマを抱いたミトコンドリア脳筋症患者に対する看護ケアの意味づけ	菅原 枝里	5月31日	10:40-11:40	第2会場 (中ホール)
16	○4-02	臨床看護師のクリティカルシンキングと倫理的問題を考える傾向および共有の有無との関連	小野 良子	5月31日	10:40-11:40	第2会場 (中ホール)
17	○4-03	「よい看護師」が患者に向き合う姿勢：がん患者の生の声から	田中 真木	5月31日	10:40-11:40	第2会場 (中ホール)
18	○4-04	ICU・CCUにおける倫理的感受性の向上、維持に向けた取り組み	吉田 麻里	5月31日	10:40-11:40	第2会場 (中ホール)
19	○4-05	看護実践の中に潜むネグレクト	茂野 香おる	5月31日	10:40-11:40	第2会場 (中ホール)
座長：大串祐美子（東札幌病院）						
20	○5-01	小児専門病院における看護部倫理委員会の取り組み	矢部 和美	5月31日	13:10-14:10	第2会場 (中ホール)
21	○5-02	「個の尊厳を護るケア技術を考える会」実践報告—10年間継続の軌跡—	国本 京美	5月31日	13:10-14:10	第2会場 (中ホール)
22	○5-03	A施設の看護部倫理ワーキングコアメンバーによるサポート活動報告と今後の課題	高野 智早	5月31日	13:10-14:10	第2会場 (中ホール)
23	○5-04	看護倫理カンファレンスの運営状況と評価(第2報)	浜谷 千枝子	5月31日	13:10-14:10	第2会場 (中ホール)
座長：麻原きよみ（聖路加国際大学大学院）						
24	○6-01	看護の社会的価値とイメージの変遷に関する文献検討：看護の日制定1990年以前と以降をみる	西牧 航希	5月31日	15:30-16:30	第2会場 (中ホール)
25	○6-02	持続可能な開発目標の達成のために我々は何をするのか？	河野 梢子	5月31日	15:30-16:30	第2会場 (中ホール)
26	○6-03	看護師は道徳的苦痛とどう向き合ってきたのか—道徳的感受性、道徳的苦悩、道徳的レジリエンスの研究動向	中村 充浩	5月31日	15:30-16:30	第2会場 (中ホール)
27	○6-04	看護師のmoral judgement-action gapに関する国内文献レビュー	岡島 志野	5月31日	15:30-16:30	第2会場 (中ホール)
28	○6-05	研究の中の看護 ～看護者の倫理から、その重要性を考える～	土井 香	5月31日	15:30-16:30	第2会場 (中ホール)

H	発表番号	演題	発表者	日時	討議時間	場所
29	P1-01	看護学部3年生の倫理的判断とその根拠—「看護倫理Ⅰ」受講前後の比較—	岩崎 真子	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
30	P1-02	看護基礎教育におけるケアリングの教育方法の考察—道德教育の援用可能性について—	佐藤 聖一	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
31	P1-03	看護倫理の授業が学生の道徳的感受性に与える影響(その1)—身体拘束に対する学生のとらえ方の変化—	夏目 美貴子	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
32	P1-04	看護倫理の授業が学生の道徳的感受性に与える影響(その2)—尺度でとらえた感受性の変化—	滝沢 美世志	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
33	P1-05	リフレクティブサイクルを活用した看護倫理教育プログラムの開発—従来型の授業を受けた学生の倫理実践—	相原 ひろみ	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
34	P1-06	看護師の倫理的行動尺度の旧尺度構成の再検討—高次因子分析と階層的因子分析の結果から—	大出 順	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
35	P1-07	臨地実習で看護学生が経験した倫理的問題	平井 由佳	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
36	P1-08	看護倫理研修における持参事例の経年変化—4年間で参加者が持参した事例の倫理的問題は変わってきたのか—	宇山 和美	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
37	P1-09	卒後3~5年目看護師を対象とした看護倫理研修方法の検討	龜山 千里	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
38	P1-10	臨床倫理検討シートを用いた看護倫理に関する現任研修—自治体病院での3年間の実施と評価からの一考察—	森田 静江	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
39	P1-11	クリニカルラダーⅡの看護師を対象とした看護倫理研修の評価	浜谷 千枝子	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
40	P1-12	看護部倫理委員会によるクリニカルラダー研修での取り組み—レベルごとの倫理研修4年間の振り返り—	三嶋 友恵	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
41	P1-13	倫理研修会とタイムリーな倫理カンファレンス実施がICU看護師に与える効果	島村 千恵子	5月30日	16:00-16:30	示説会場 (展示ホール)
42	P2-01	訪問看護ステーション管理者のエンドオブライフ・ケアに関するガイドライン・指針の認知度	實金 栄	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
43	P2-02	適応的終焉行動を促す心に寄り添うケア—交わされた合図信号の意味—	山本 真弓	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
44	P2-03	骨折のリスクが高い終末期患者の離床をめぐる倫理検討	井上 智恵	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
45	P2-04	診察における思春期のわが子の主体性に関する保護者の考え	佐藤 寿哲	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
46	P2-05	「看護師の責任」に関する文献検討	杉山 祥子	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
47	P2-06	看護系大学の倫理審査委員会の実態と委員長の意識	大西 香代子	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
48	P2-07	子どものインターネット使用に関する課題—地域住民への認識調査より	前田 尚美	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
49	P2-08	看護師のチームの連携・協働と倫理的行動との関係	大出 順	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
50	P2-09	婦人科がん術後患者へのリンパ浮腫予防のセルフマネジメント支援に対する患者の思い	佐藤 真由美	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
51	P2-10	院内における看護倫理委員会活動の振り返り	森下 幸子	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
52	P2-11	がん化学療法看護認定看護師からの講義において看護学生が捉える倫理的視点	門倉 康恵	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
53	P2-12	看護学生の臨地実習における看護ケア時の倫理的葛藤と対処行動	星野 真由	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
54	P2-13	地域高齢者の人生の最終段階に関する意識とアドバンス・ケア・プランニングの認識	藤原 佳奈	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
55	P2-14	病院内における排泄臭の現状と対策、その効果	三好 南菜	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
56	P2-15	看護師が多職種チームの中で経験する違和感やジレンマについての文献検討	神津 可帆	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
57	P2-16	一般病棟における認知症高齢者と関わる看護師の困難と対応についての文献レビュー	和田 笑	5月31日	10:40-11:10	示説会場 (展示ホール)
58	P3-01	分野を超えた専門看護師の倫理検討	内部 孝子	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
59	P3-02	脱身体抑制への看護管理者の取り組みと共通する看護の基本姿勢	深谷 博子	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
60	P3-03	身体拘束予防における倫理的視点に基づくケアの実現に向けて—倫理・認知症委員会合同研修を行った成果—	川合 幹子	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)

61	P3-04	高次集中治療部における多職種カンファレンス定着の3年間の取り組み	露無 明美	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
62	P3-05	自治体病院看護師が捉える倫理的問題・葛藤の因子内容と関連要因（第一報）	高島 真紀	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
63	P3-06	自治体病院看護師が捉える倫理的問題・葛藤の因子内容と関連要因（第二報）	岩永 明美	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
64	P3-07	在宅看取り支援を行う訪問看護師の倫理的悩み	名越 恵美	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
65	P3-08	病院看護師の道徳的感受性、倫理的行動の実態 —看護倫理の研修・教育のあり方の検討をめざして—	中尾 久子	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
66	P3-09	認知症患者のBPSD症状発現時の対応とジレンマ・倫理観についての実態調査	竹田 秀信	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
67	P3-10	看護管理者の倫理的問題に対する認識—身体抑制とせん妄あるいは認知症BPSD予防に焦点を当てて—	小野田 弓恵	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
68	P3-11	手術室看護師が経験する倫理的問題の具体的内容	木下 天翔	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
69	P3-12	A病院における看護師の倫理に対する認識	小田 果永	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)
70	P3-13	急性期病院における看護部倫理委員会の取り組み	江戸 佳能代	5月31日	14:15-14:45	示説会場 (展示ホール)